

# 視 察

10月13日～15日まで建設常任委員会の管外視察に行ってきました。

13日：横須賀市・上下水道事業統合について

14日：町田市・道路資産管理計画について、ほか1項目  
八王子市・交通政策について

15日：東京都江東区・マンション急増対策について



委員を代表して挨拶しました

## <横須賀市>

横須賀市は平成16年4月から、水道局と下水道部の組織統合行い上下水道局を発足させました。統合によるコスト削減効果は人件費をはじめとする経費削減額で約2億5900万円であったとのことでした。組織をスリム化したことによる市民サービスが低下しないように懸命に努力されている様子が伺えました。

## <町田市>

町田市は道路を資産(アセット)と位置付けて、管理運営されていました。この手法により、限られた予算と職員で市民に安全な道路施設を提供し続けることが可能になりました。道路補修補強を行う際の資産評価の考え方や必要となる補修補強の方法と費用を明確にすることで、何故、今この場所で補修補強が必要となるのかを明確にするとともに、優先順位等に基づいて予算をならす等、市民に説明し、納得頂ける予算執行を行えます。西宮市においても補修補強が必要となる道路資産は数多くあり、その維持管理費用が高額となります。一方で、西宮市の発展のために新規整備事業はかせないものであり、整備のための予算も必要不可欠です。そのため、

大規模で高額な補修補強が必要となる前に、軽微で安価な補修補強を行い、施設の寿命をのばし維持管理費用を削減する予防保全型の維持管理へ転換し、新規整備事業とのバランスを図る対策が不可欠です。

## <八王子市>

八王子市は東京都西部に位置しており、都内では比較的バス・タクシー交通への依存度が高い地域となっています。また、山間地域では高齢化が進む上に坂が多く、小回りのきく交通機関の必要性が高まっていました。ある山間地域においては、運行経費のうち、運賃収入を除いた分を地域と市が約4:6の比率で負担しており(市の負担分の方が多いのは、スクールバスのような利用も多いという理由で教育委員会からの補助があるため)、住民負担は、世帯あたりで、半年間5千円(年間1万円)となっていました。平成19年度末現在、地域の86世帯全てが負担しているとのことでした。地域の足は地域で守ることを基本としていて、住民も負担に対して理解を示されておりました。西宮市でも市の役割と住民の役割を明確にし、バランスのとれた交通不便地域解消施策を早急に講じるべきだと、改めて痛感しました。

## <江東区>

江東区は平成12年からマンション建設ラッシュに伴う人口急増に教育環境の整備が追いつかなくなりました。従来から大型団地が多く、人口の80%がマンションに住んでいるという背景から昭和55年にはワンルームマンション建設を対象に開発指導要綱を策定し、人口増加対策をしてきました。しかし、平成15年、この要綱では開発コントロールに限界があるため、より拘束力の強い条例制定に踏み切りました。その主な内容としてはマンションを建設する場合に開発事業者から区への協力金125万円支払う義務を課しました。西宮市でも一時の建設ラッシュほどではないにしろ、いまだマンションは増えております。市内では校区変更を行った地区もあります。都市整備は行政の大きな担いの一つです。教育環境の充実を図るとともに、地域コミュニティが崩壊しないように慎重かつ柔軟な都市整備施策の必要性を感じました。



I ♥ NISHINOMIYA  
Yoshioka Masakazu Ganbaru Report

- 吉岡 政和
- 昭和49年6月17日生まれ
  - 西宮市立生瀬小学校卒業
  - 西宮市立生瀬中学校卒業
  - 西宮市立西宮高等学校卒業
  - 近畿大学
  - 商経学部経営学科卒業
  - 平成11年4月より、  
中山正輝建設大臣(当時)  
の下で政治を学ぶ
  - 平成19年4月  
西宮市議選挙にて4,041票を  
獲得し初当選(45名中6位)
  - 平成22年6月より  
建設常任委員長

# 吉岡政和 よしおか まさかず がんばる レポート

東京都町田市にて視察委員代表挨拶

暦の上では立冬を過ぎ、短い秋も暮れようとしているこの頃ですが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。9月議会では平成21年度の決算認定がされました。今回の「がんばるレポート」では、決算概要と常任委員会視察報告や西宮市内最大級の国家事業である国道176号「名塩道路」について、語りたく存じます。また、前号に意見書を書いたところ大変多くのご意見・ご要望を賜りました。頂きましたご意見・ご要望につきましては、直ちに政策提言できるものから、研究を要するものまで、全てを大切にまいりたいと存じます。そしてそれらの解決に向けて残りの任期を全うしていきたく存じます。今号も意見書を書いておりますので、何なりとご記入いただき投函してください。(ひとり言・・・誹謗・中傷も意見・激励の一つと捉えて一言一句大切に読ませていただいております。言葉での叱咤や罵声には慣れていますが、文字化されたものには慣れておりませんでした。意外と傷つきました・・・こういう身形ですが結構ナイーブです。思いやりをもって誹謗してください。)

吉岡政和へのご意見・ご質問等何でも結構ですので下記ハガキよりお寄せ下さい。(匿名でも可) キリトリ

平成21年度決算認定  
あなたの収めた税金10,000円は  
こう使われました。

### よっちゃんのわかりやす〜い解説

平成21年度の一般会計決算が認定されました。決算額は1638億3294万円でした。歳入(収入)は前年に比べて111億6千万円増加(7.3%)しましたが、歳入の50.5%を占める市税は不景気の影響か前年度と比べ14億8千万円減額しました。

※%は対前年伸率をあらわしています

議会費 50円 -3.8%	土木費 1,190円 -2.8%
総務費 1,390円 28.5%	消防費 320円 2.1%
定額給付金給付事業費の増	教育費 1,330円 15.2%
民生費 2,900円 5.6%	児童急増対策事業費の増
衛生費 880円 8.5%	災害復旧費 0円 —%
労働費 10円 1%	公債費 1,630円 -1.5%
農林水産費 10円 4.3%	市の借金残高は1827億3千万円
商工費 100円 120.2%	諸支出費 190円 1.9%
フレンテ西宮商業床整備事業(JR西宮駅前のコープ撤退に伴う整備事業)	予備費 0円 —%

## 吉岡政和にもの申す!!

ご意見欄 どうぞお寄せください



お名前 TEL

ご住所

お問い合わせ先 吉岡政和(活動事務所)  
〒669-1102 西宮市生瀬町1丁目12-9 電話 0797-75-3397 FAX 0797-75-5230  
メールアドレス dm-10.masakazu@h6.dion.ne.jp ホームページ http://www.yoshiokanavi.jp/



## 国道176号線「名塩道路」の早期完成を求める意見書採択

9月議会最終日に国道176号線の早期完成を求める意見書を建設常任委員全員の署名を以て上程し、全会一致で可決されました。

### 国道176号線「名塩道路」の現状

「コンクリートから人へ」の影響を受けた国道176号線「名塩道路」整備事業

例年20億円程度の国家予算が投入されて整備されてきた事業ですが、本年より例年予算の5%にあたる1億円のみで執行に留まりました。この予算内で出来る工事は道路用地の管理程度しか出来ないということです。西宮市北部の市民にとってこの処置は怒りさえ覚えるものです。

#### 一現状一

一般国道176号は、近畿地方北部と阪神間を結ぶ主要幹線道路であり、このうち本市山口町から宝塚市栄町までの間、延長10.6kmの区間は、国土交通省の直轄事業『名塩道路』として整備されております。この道路は、広域都市圏における重要な社会基盤施設であるとともに、本市の北部地域の住民にとっても、必要不可欠な生活道路です。『名塩道路』は、現在、暫定2車線での整備済み区間を含め、約5.5kmが供用されておりますが、事業着手から既に20余年もの歳月が経過しております。

現国道を通行する車両は、1日当たり26,000台を超え、大型車両も多いため、沿線地域では、慢性的な渋滞や騒音、振動、排気ガスによる大気汚染等、市民生活にも影響を与える深刻な問題となっております。とりわけ1工区では、現国道が、住宅地域の中心部を貫通する形で走り、2車線で幅員が狭い上に、歩道も整備されていないため、歩行者は、人家の軒先をかすめて走行する大型車両を避けるように、こわごわ軒下を通行する危険な状況となっております。

また、最近では、高速道路の休日特別割引や無料化社会実験の影響による中国自動車道の渋滞を避けるため、現国道では迂回交通による渋滞が著しく、沿線住民の日常的な自動車利用にも支障を来しています。こうした交通状況に対して、住民からは、「土日に車で外出すると、渋滞のために帰ってこれない」、「火事や急病などの際、消防車や救急車がたどり着けない」などの悲痛な声が寄せられています。現国道の交通状況は、単に日常生活への影響にとどまらず、市民の生命にも影響を及ぼしかねない危険な状態となっております。

総事業費850億円で、既に690億円が投入されております。残り160億円の工事があり、名塩付近の工区だけでも30億円の工事が必要とのことです。単純計算ですが、年間20億円の予算が投入されても完成まで最低8年かかることになります。いまだ先が見えないのが国道176号線「名塩道路」整備事業の現状です。

国家プロジェクトなので、地方議会議員に出来ることは限られておりますが、精一杯この道路の早期完成を訴えてまいりたいと思います。

## 一般国道176号(名塩道路)の整備促進に関する意見書

一般国道176号は、近畿地方北部と阪神間を結ぶ主要幹線道路であり、このうち本市山口町から宝塚市栄町までの間、延長10.6kmの区間は、国土交通省の直轄事業、名塩道路として整備に取り組まれている。

この道路は、阪神北部地域にとって重要な社会基盤施設であるとともに、本市の北部地域の住民にとっても、必要不可欠な生活道路であり、現在、暫定2車線での整備済み区間を含め、約5.5kmが供用されているが、事業着手から既に20余年もの歳月が経過しており、沿線地域の住民は、一日も早い全線開通を待ち望んでいる。

現国道は幅員の狭い2車線道路で、一日当たり26,000台(大型車混入率22.4%)を超える車両が通行しており、慢性的な渋滞や騒音、振動、排気ガスによる大気汚染等、市民生活に与える影響は深刻な問題となっている。

また、現国道には歩道が整備されていない区間が多く、沿線の教育施設に通学する児童等の安全確保の面からも、名塩道路の早期整備は必要不可欠であるにもかかわらず、事業費が大幅に削減され、事業の円滑な進捗が見込めない状況である。

よって、国におかれては、国道176号(名塩道路)の早期完成を図るため、必要な事業費予算を確保し整備促進に努めるよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月30日

(提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 国土交通大臣

西宮市議会

### 一般国道176号(名塩道路)の整備促進に関する意見書提出の件

上記意見書案を次のとおり西宮市議会会議規則第14条第1項の規定により提出する。

平成22年9月30日提出

提出者

西宮市議会議員	吉岡政和	西宮市議会議員	草加智清
〃	たかはし倫恵	〃	ざご宏一
〃	上田さち子	〃	田中渡
〃	魚水けい子	〃	中川経夫
〃	川畑和人	〃	花岡ゆたか
〃	喜田侑敬	〃	

郵便はがき  
669-1190

吉岡政和事務所 行

西宮市生瀬町二丁目二十九

料金受取人私郵便

宝塚支店 承認

2083

差出有効期限  
平成24年7月31日まで



軒先まで迫る大型車



週末は大渋滞



歩道のない通学路を通う名塩小の児童

